

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公開番号】特開 2018-49645 (P2018-49645A)

【公開日】平成 30 年 3 月 29 日 (2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-012

【出願番号】特願 2017-211348 (P2017-211348)

【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

G 0 6 Q 50/22 (2018.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

G 0 6 Q 50/22

C 1 2 M 1/34 A

C 1 2 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 7 日 (2019.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの情報を取得する取得部と、

機能性素材の情報を推薦対象として前記ユーザに提示する提示部と、を備え、

前記提示部は、前記取得部が取得したユーザに対して提示する機能性素材に関する情報を前記ユーザとは別のユーザが機能性素材を摂取した後に取得した情報に基づき機能性素材の情報を提示し、

前記提示部は、前記機能性素材が前記ユーザとの関係で禁忌すべきものであるか否かを判定し、禁忌すべきものであると判定した場合には、前記機能性素材を前記推薦対象から除外することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記別のユーザが機能性素材を摂取した後に取得した情報は、前記別のユーザが機能性素材を摂取した後に行った、当該摂取した機能性素材に対する評価であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記別のユーザが機能性素材を摂取した後に取得した情報は、前記別のユーザが機能性素材を摂取した後に行った、前記別のユーザの身体又は排泄物に関する検査結果であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記排泄物に関する検査結果は、前記別のユーザの腸内細菌に関する検査結果であることを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記提示部は、前記取得部が取得したユーザに対して提示する機能性素材に関する情報

を前記ユーザが以前に行った機能性素材に対する評価に基づき提示することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

ユーザが機能性素材を摂取する目的を取得する目的取得部を有し、前記提示部は前記目的取得部が取得した目的に応じて前記ユーザに送信する機能性素材の情報を変更することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

複数のユーザを 2 以上のグループに分類する分類部を備え、

前記別ユーザは前記ユーザと同一のグループから選定することを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記分類部は腸内細菌叢の類似度を利用してユーザを分類することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記機能性素材は 1 種類以上の乳酸菌を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

ユーザの情報を取得する取得ステップと、

機能性素材情報を 推薦対象として前記ユーザに提示する提示ステップと、

前記提示ステップでは、前記取得ステップで取得したユーザに対して提示する機能性素材に関する情報を前記ユーザとは別のユーザが機能性素材を摂取した後に取得した情報に基づき、前記ユーザに機能性素材情報を提示し、

前記提示ステップでは、前記機能性素材が前記ユーザとの関係で禁忌すべきものであるか否かを判定し、禁忌すべきものであると判定した場合には、前記機能性素材を前記推薦対象から除外することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 11】

コンピュータに対し、

ユーザの情報を取得する取得ステップと、

機能性素材情報を推薦対象として前記ユーザに提示する提示ステップと、 を実行させるためのプログラムであって、

前記提示ステップでは、前記取得ステップで取得したユーザに対して提示する機能性素材に関する情報を前記ユーザとは別のユーザが機能性素材を摂取した後に取得した情報に基づき提示させ、

前記提示ステップでは、前記機能性素材が前記ユーザとの関係で禁忌すべきものであるか否かを判定し、禁忌すべきものであると判定した場合には、前記機能性素材を前記推薦対象から除外させることを特徴とするプログラム。